

河道閉塞（天然ダム）湯ノ倉温泉地区 観測水位状況について【第2報】

国土交通省東北地方整備局では、平成20年岩手・宮城内陸地震により発生した河道閉塞（天然ダム）の監視・観測を実施していますが、このうち「湯ノ倉温泉地区」の水位は、7月12日5時20分に、越流する危険があると考えられる水位まであと1m以下となりました。

現在のところ河道閉塞（天然ダム）及び下流側河川沿川では被害が発生しているという報告はありませんが、下流側の河川周辺では十分警戒してください。

なお、今後も水位等に注意しつつ緊急事業の実施・監視・観測体制を継続し、状況について随時お知らせします。

・「湯ノ倉温泉地区」観測水位の状況

越流する危険のある水位 EL 394.9m

7月12日6時50分現在の水位 EL 394.7m（水位差0.2m）

・直轄砂防災害関連緊急事業の実施状況

7月12日ポンプ16台設置済み。排水中

・監視、観測体制

引き続き水位監視を継続するとともに、河道閉塞箇所等のへりによる調査等を実施する予定。

（発表記者会）

宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会

また、栗原市災害対策本部広報室においても配布しております。

（問い合わせ先）

東北地方整備局 河川部 流域・水防調整官

平石 進（内3518）

夜間直通 022-227-6005

住所 仙台市青葉区二日町9-15

電話 022-225-2171（昼間）